

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	厚生労働科学研究費補助金		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和26年		担当課室	厚生科学課		福島 靖正		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-2-1 厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働科学研究費補助金取扱規程 (平成10年4月9日厚生省告示第130号)		関係する計画、通知等	・「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定) ・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。(補助率10/10)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	47,202	43,828	44,036	44,036	51,064	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	△ 305	565	679	143		
		計	46,897	44,393	44,715	44,179	51,064	
	執行額	46,767	43,619	44,445				
執行率 (%)	99.7%	98.3%	99.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研究の目的や成果は研究課題毎に異なるため、これらの成果を数値で示すことは困難			—	—	—	—	—
			達成度	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択件数			件	1,571	1,558	1,480	—
単位当たりコスト	30,030,000(円/1件)		算出根拠	執行額/活動実績				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	厚生労働科学研究費補助金	44,036	51,064	「新しい日本のための優先課題推進枠」(9,865)に要求による増				
計	44,036	51,064						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	少子高齢化の進展、疾病構造の変化、国民を取り巻く社会環境の変化、国民のニーズの多様化・高度化などに的確に対応した厚生労働行政が広く国民より求められている。それらのニーズに対応するためには、産官学の各分野が協力して新しい知見を生み出し、適切で科学的根拠に立脚した行政施策を実施する必要があるため、これらの行政施策を達成するには国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定)、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づく事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	研究事業毎に成果目標は異なるが、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究課題を達成するために必要な経費の補助を行っているため、明確な成果目標の達成手段と位置づけられる。また、厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、優先度が高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	研究事業ごとに評価委員会を設置し、各研究課題の評価を行うことにより採択課題を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	申請のあった研究計画に対して評価を行った上で必要な経費を交付する、という研究費の性質に鑑みるに受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	研究課題毎に必要な研究費の額は異なるため一概には比較できないが、概ね研究計画にそって事業を実施できているため妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研究成果については、厚生労働科学研究データベース等で公表している。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	厚生労働科学研究費補助金については、厚生労働行政の中でも社会的要請の強い研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、必要な経費の補助を行っており、平成24年度においては、1480件の研究課題を専門家による評価結果に基づき採択したところ。今後も引き続き、研究課題の採択を適切に行い、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図っていく。				
	外部有識者の所見				
外部有識者点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、当該研究に必要な経費の補助を行う経費であり、執行状況を精査し、引き続き必要な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	569	平成23年	518	平成24年	458

厚生労働省  
44,445百万円

A 個人(1540課題) 42,268百万円  
(1,462)

B 法人(18課題) 2,177百万円  
(18)

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.個人			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	消耗品費	試薬、事務用品等	341			
	備品費	研究機器等	123			
	委託費	モニタリング、監査等の業務委託	60			
	人件費	研究協力者への各種手当等	97			
	旅費	国内旅費及び外国旅費	13			
	その他	印刷製本費、通信運搬費等	276			
	計		910	計		0
B.社団法人日本医師会			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
消耗品費	試薬、事務用品等	34				
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	681				
人件費	研究協力者への各種手当等	110				
旅費	国内旅費及び外国旅費	36				
その他	印刷製本費、通信運搬費等	309				
計		1,170	計		0	
C.			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	研究者A	ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究	910	—	—
2	研究者B	政策創薬におけるヒューマンサイエンス総合研究(官民共同研究)の推進	685	—	—

3	研究者C	アジュバント安全性評価データベースの構築研究	400	—	—
4	研究者D	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	399	—	—
5	研究者E	次世代生命基盤技術を用いたB型肝炎制圧のための創薬研究	390	—	—
6	研究者F	多発性硬化症の新規免疫修飾薬を検証する医師主導治験	295	—	—
7	研究者G	疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	290	—	—
8	研究者H	糖尿病予防のための戦略研究	276	—	—
9	研究者I	希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究	274	—	—
10	研究者J	B型肝炎の新規治療薬を開発するための宿主の自然免疫系の解析に関する	260	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人日本医師会	治験推進研究事業	1,170	—	—
2	財団法人 国際協力医学研究振興財団	糖尿病予防のための戦略研究	276	—	—
3	公益財団法人エイズ予防財団	エイズ対策研究推進事業	234	—	—
4	公益財団法人 がん研究振興財団	第3次対がん総合戦略研究推進事業	205	—	—
5	財団法人日本予防医学協会	難治性疾患等克服研究推進事業	56	—	—
6	財団法人日本予防医学協会	障害者対策総合研究推進事業(精神障害、神経・筋疾患分野)	30	—	—
7	公益財団法人 長寿科学振興財団	認知症対策総合研究推進事業	28	—	—
8	公益財団法人 日本対がん協会	がん臨床研究推進事業	28	—	—
9	財団法人 がん集学的治療研究財団	がん臨床研究推進事業	26	—	—
10	財団法人 循環器病研究振興財団	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	23	—	—